
2019年度 第3四半期

決算説明資料

地球の恵みを、社会の望みに。



2020年2月13日

2019年度 第3四半期業績

■ 連結損益計算書	4
■ セグメント別売上収益	5
■ セグメント別営業利益	6
■ 各セグメントの売上収益・営業利益	7
■ 連結財政状態計算書	15
■ キャッシュ・フローの状況	16

2019年度 通期業績予想

■ 通期連結業績予想	18
■ セグメント別 売上収益・営業利益予想	19

補足資料

■ IFRS適用の影響（2018年度第3四半期・セグメント別）	21
■ 産業ガス及びエネルギー関連の製品別売上収益（国内）	22
■ 主要グループ会社 売上収益	23

注 記 事 項

- ・本資料に掲載されている目標数値及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・2019年度第1四半期よりIFRS（国際会計基準）を適用しております。なお、比較年度数値についても、日本基準からIFRSに置き換えて表示しております。

2019年度 第3四半期業績

連結損益計算書

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	
			金額	前年同期比
売上収益	5,378	5,921	+543	110.1%
売上原価	▲4,181	▲4,589	▲408	
売上総利益	1,197	1,332	+134	111.2%
販売費・一般管理費	▲882	▲1,002	▲120	
その他の営業収益・費用	▲12	47	+59	
持分法による投資損益	11	11	+1	
営業利益	315	388	+74	123.4%
金融損益	▲2	▲4	▲2	
税引前四半期利益	313	384	+71	122.8%
法人所得税費用	▲107	▲117	▲10	
非継続事業からの四半期損益	13	▲1	▲14	
四半期利益	218	266	+47	121.7%
親会社の所有者	210	233	+23	110.9%
非支配持分	8	33	+24	
営業利益率	5.8%	6.6%		
ROE ※1	7.8%	7.6%		
基本的 1 株当たり四半期利益 ※2	107.54円	116.95円		

※1 「親会社の所有者に帰属する四半期利益」 ÷ (「期首親会社所有者帰属持分」+「第3 四半期末親会社所有者帰属持分」) / 2)

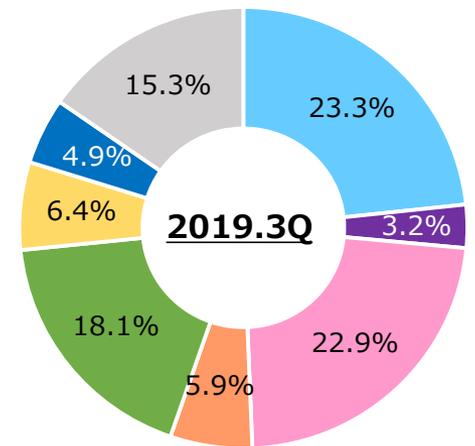
※2 基本的 1 株当たり四半期利益は期中平均発行株式数により算出しています。

セグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	1,252	1,380	+128	110.2%
ケミカル関連	170	187	+18	110.4%
医療関連	1,229	1,355	+126	110.3%
エネルギー関連	359	351	▲8	97.8%
農業・食品関連	1,057	1,072	+15	101.5%
物流関連	361	380	+19	105.3%
海水関連	284	288	+4	101.5%
その他	667	907	+240	135.9%
合計	5,378	5,921	+543	110.1%

セグメント別 売上収益構成比



- 産業ガス関連
- ケミカル関連
- 医療関連
- エネルギー関連
- 農業・食品関連
- 物流関連
- 海水関連
- その他

セグメント別 売上収益増減

(単位：億円)

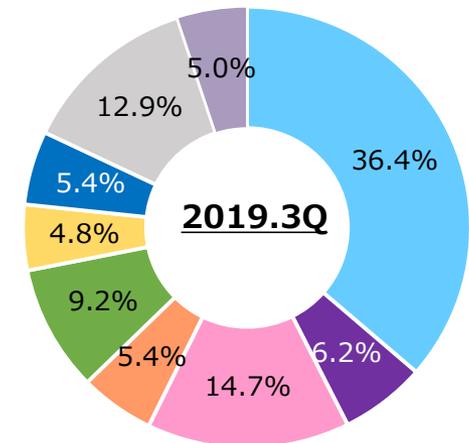


セグメント別 営業利益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	117	141	+24	120.3%
ケミカル関連	6	24	+18	387.6%
医療関連	55	57	+2	103.2%
エネルギー関連	19	21	+1	107.6%
農業・食品関連	44	36	▲8	81.7%
物流関連	18	19	+1	103.5%
海水関連	15	21	+6	137.1%
その他	26	50	+24	190.1%
調整額	13	20	+7	151.7%
合計 ※	315	388	+74	123.4%

セグメント別 営業利益構成比

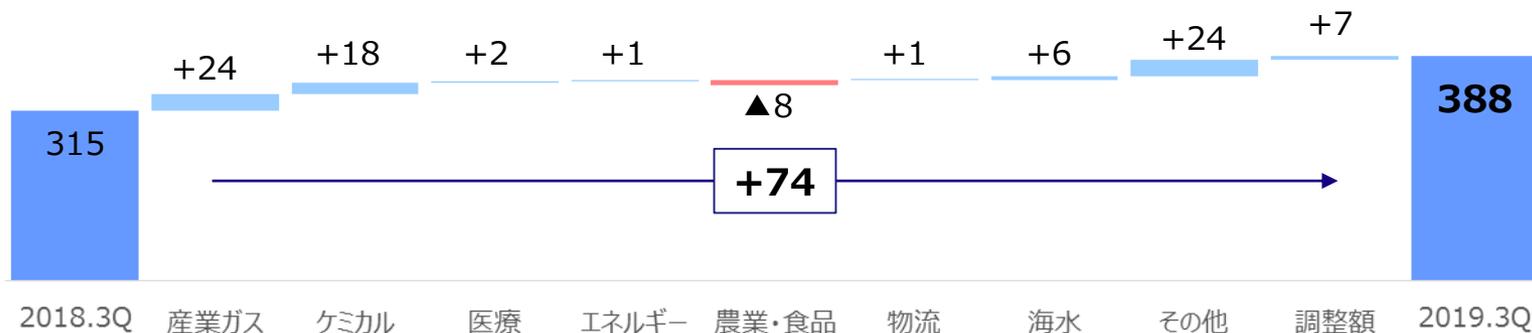


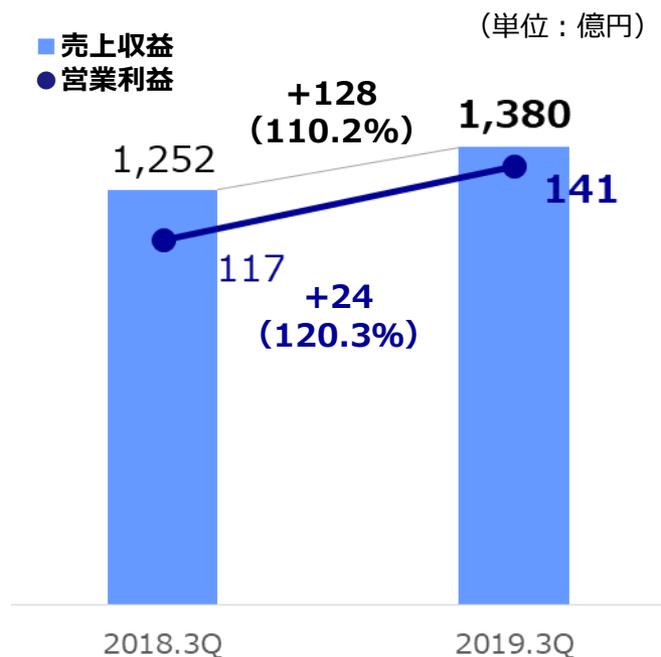
- 産業ガス関連
- ケミカル関連
- 医療関連
- エネルギー関連
- 農業・食品関連
- 物流関連
- 海水関連
- その他
- 調整額

※調整額：セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社本社部門の損益

セグメント別 営業利益増減

(単位：億円)





主な増減要因

■ 売上収益 +128億円

- ・ニチネツホールディングス(株)の新規連結効果
- ・Praxair India社から事業を譲り受けた子会社の新規連結効果
- ・半導体向け関連機器の販売が拡大

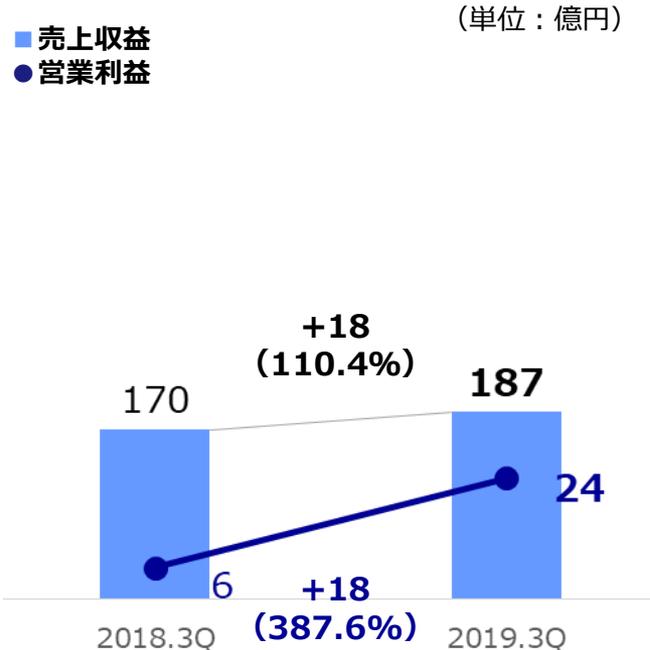
■ 営業利益 +24億円

- ・ニチネツホールディングス(株)の新規連結効果
- ・炭酸ガス・ドライアイスの価格改定が進展
- ・子会社の土地売却に伴う営業利益を計上
- ・前年度に計上した固定資産除却損の反動効果

■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
ガス	918	951	+33	103.6%
機器・工事	334	429	+95	128.4%
計	1,252	1,380	+128	110.2%



主な増減要因

■ 売上収益 +18億円

・(株)FILWEL・大東化学(株)の新規連結効果

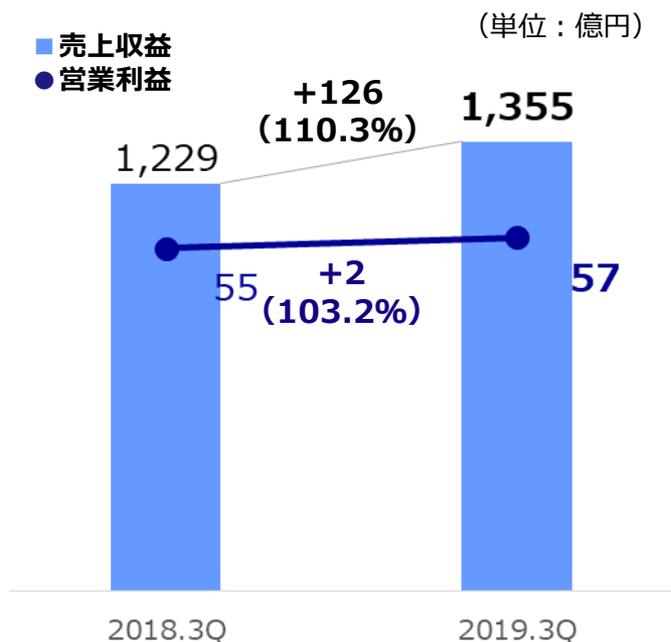
■ 営業利益 +18億円

・大東化学(株)のM&Aに伴う、負ののれん計上
・電子材料向け製品の収益改善が進展

■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
機能化学品	76	96	+20	126.4%
川崎化成工業	94	92	▲2	97.6%
計	170	187	+18	110.4%



主な増減要因

■売上収益 +126億円

- ・医療サービス（SPD）の取引拡大
- ・前年度に実施したM & Aの新規連結効果
- ・病院設備の改修案件が増加

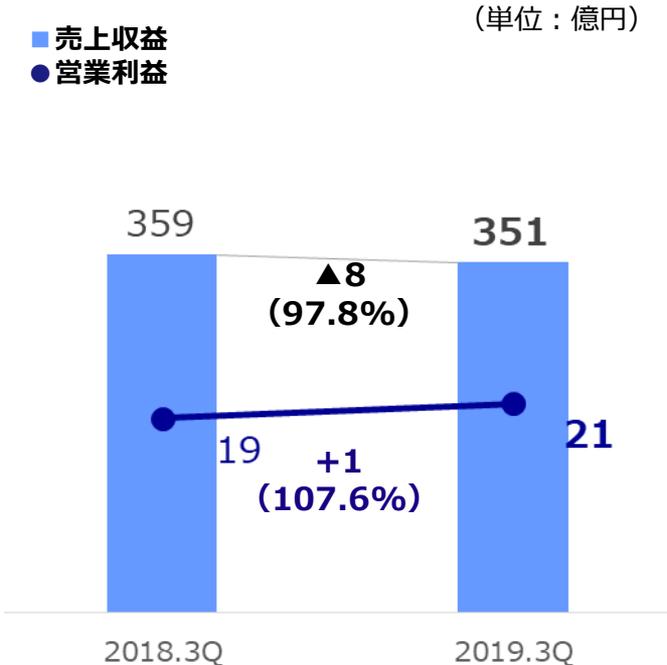
■営業利益 +2億円

- ・注射針およびデンタルにおいて製品の販売が回復
- ・前年度に実施したM & Aの新規連結効果
- ・医療機器の販売が増加

■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
設 備	175	187	+12	106.7%
医 療 サ ー ビ ス	572	633	+61	110.6%
医 療 ガ ス	66	66	+0	100.6%
医 療 機 器	44	50	+6	113.0%
在 宅 医 療	71	72	+1	101.5%
衛 生 材 料	179	181	+2	101.4%
そ の 他	122	166	+44	136.0%
計	1,229	1,355	+126	110.3%



主な増減要因

■売上収益 ▲8億円

- ・C P 価格に連動してL P ガスの販売単価が減少
- ・民生用L P ガスの販売数量が増加
- ・エネルギー関連機器・工事の販売が増加

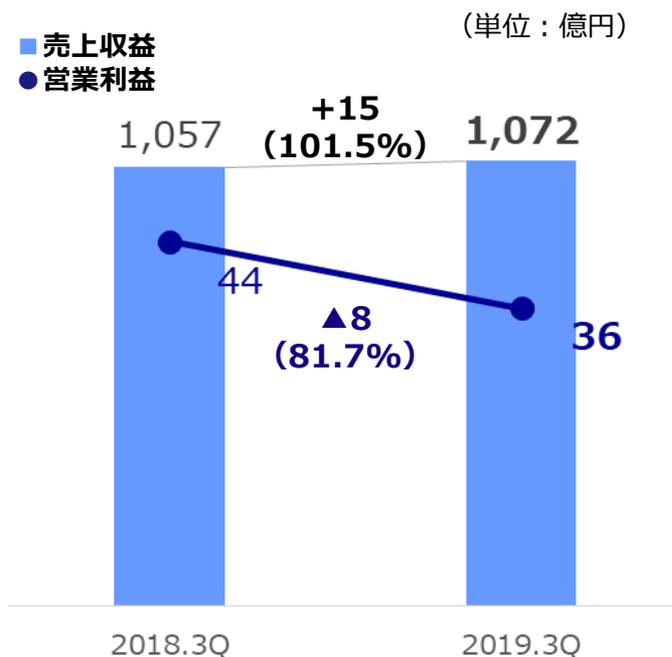
■営業利益 +1億円

- ・民生用L P ガスの販売数量が増加
- ・販売店の商権買収により直売顧客が増加
- ・エネルギー関連機器・工事の販売が増加

■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
L P ガス	352	344	▲8	97.7%
天然ガス関連	6	7	+0	106.5%
計	359	351	▲8	97.8%



主な増減要因

■売上収益 +15億円

- ・M & Aによる新規連結効果
- ・ハム・デリカおよびスイーツの販売が減少
- ・冷夏の影響により飲料の受託量が減少

■営業利益 ▲8億円

- ・冷夏の影響により飲料の受託量が減少
- ・農産・加工において野菜の相場安が影響
- ・ハム・デリカおよびスイーツの販売が減少

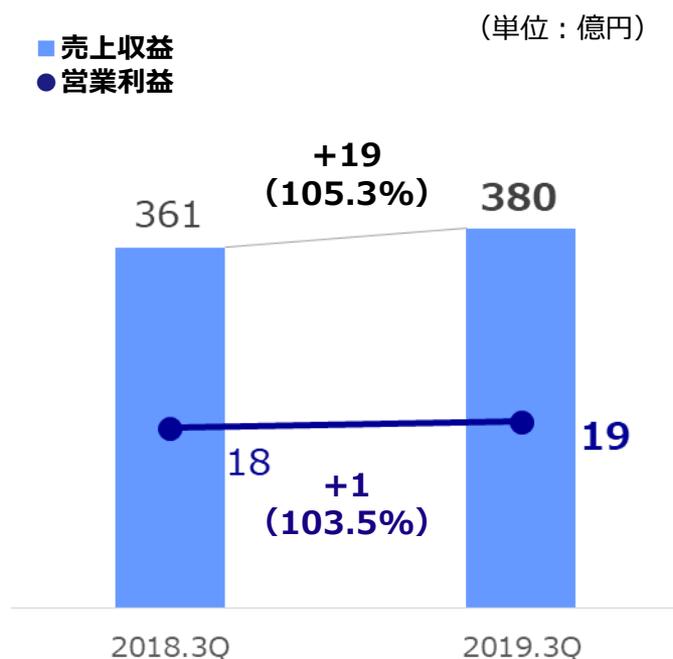
■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
農産・加工※1	422	456	+34	108.1%
飲料	401	389	▲12	97.0%
その他※2	234	227	▲7	97.1%
計	1,057	1,072	+15	101.5%

※1 前年度「食品ソリューション」に区分していたハム・デリカ、スイーツは「農産・加工」に含めています。

※2 「その他」は前年度「農産」に区分していた青果小売・農機具の製造・販売で構成されます。



主な増減要因

■売上収益 +19億円

- ・運送において荷扱量が増加
- ・3 P Lにおいて受託量が増加
- ・トレーラーの販売および整備売上が増加

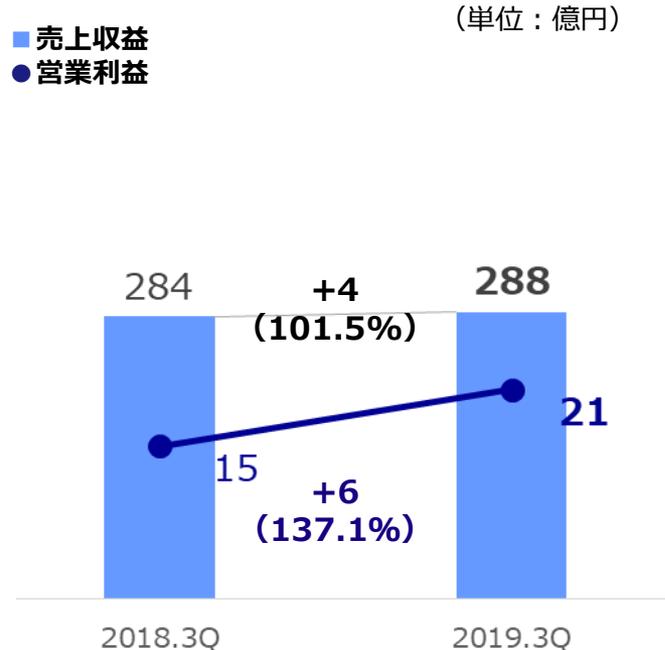
■営業利益 +1億円

- ・配送の効率化、料金適正化、庫内作業の生産性向上が進展
- ・車体の生産能力が向上

■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
運送	157	167	+10	106.4%
3 P L	167	173	+6	103.9%
車体	38	41	+3	106.7%
計	361	380	+19	105.3%



主な増減要因

■ 売上収益 +4億円

- ・電磁鋼板用マグネシアの販売が増加
- ・食品事業において海苔の販売が増加
- ・水処理関連事業および発電事業が堅調

■ 営業利益 +6億円

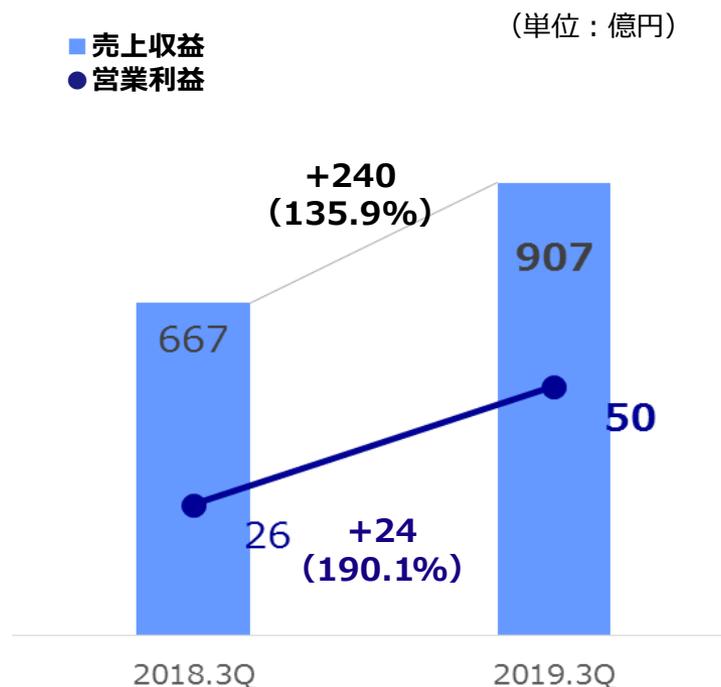
- ・電磁鋼板用マグネシアの販売が増加
- ・食品事業において生産性の改善が進展
- ・ヒーター用マグネシアの価格改定が進展

■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
塩 関 連 ※	208	212	+4	102.0%
マ グ ネ シ ア	76	76	+0	100.2%
計	284	288	+4	101.5%

※ (株)日本海水の塩事業、環境事業、電力事業、食品事業で構成されています。



主な増減要因

■ 売上収益 +240億円

- ・海外エンジニアリングにおけるM & Aの新規連結効果
- ・2019年7月から防府発電所が稼働

■ 営業利益 +24億円

- ・2019年7月から防府発電所が稼働
- ・海外エンジニアリングにおけるM & Aの新規連結効果

■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減	前年同期比
ゾ	151	148	▲3	97.9%
情 報 電 子 材 料	306	301	▲5	98.3%
海外エンジニアリング	25	163	+138	643.5%
そ の 他	185	295	+111	159.8%
計	667	907	+240	135.9%

(単位：億円)

	2019年3月末	2019年12月末	増減	
			金額	率
流動資産	3,140	3,427	+287	109.1%
非流動資産	4,720	5,678	+958	120.3%
資産合計	7,859	9,104	+1,245	115.8%
流動負債	2,684	3,365	+681	125.4%
非流動負債	2,226	2,155	▲71	96.8%
負債合計	4,909	5,520	+610	112.4%
資本合計	2,950	3,585	+635	121.5%
負債・資本合計	7,859	9,104	+1,245	115.8%
親会社の所有者に 帰属する持分	2,781	3,386		
有利子負債	2,769	3,334		
ネットD/Eレシオ	0.88	0.86		

(単位：億円)

	2018.3Q	2019.3Q	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	344	237	▲108
投資キャッシュ・フロー (②)	▲617	▲976	▲359
財務キャッシュ・フロー (③)	291	823	+532
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	18	84	+66
現金及び現金同等物の四半期末残高	250	413	+163
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	▲273	▲739	▲466

2019年度 通期業績予想

売上収益、営業利益、税引前利益、当期利益につきましては、期初予想の通りといたします。

(単位：億円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	増減	
			金額	前年比
売上収益	7,423	8,300	+877	111.8%
営業利益	428	480	+52	112.2%
税引前利益	421	470	+49	111.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	288	300	+12	104.1%
営業利益率	5.8%	5.8%		
基本的 1 株当たり当期利益	147.33円	145.36円		

セグメント別 売上収益・営業利益予想

		2018年度 通期	2019年度通期			増減		2019年度通期	
		実績	前回見直予想 (11/7)※	見直予想	差	金額	前年比	2019.3Q	4Q予想
産業ガス関連	売上収益	1,741	1,950	1,950		+209	112.0%	1,380	570
	営業利益	167	188	188		+21	112.4%	141	47
ケミカル関連	売上収益	229	280	280		+51	122.2%	187	93
	営業利益	5	3	10	+7	+4	183.2%	24	▲14
医療関連	売上収益	1,742	1,870	1,870		+128	107.4%	1,355	515
	営業利益	104	110	105	▲5	+1	101.4%	57	48
エネルギー 関連	売上収益	527	570	570		+43	108.1%	351	219
	営業利益	39	40	40		+1	103.2%	21	19
農業・食品 関連	売上収益	1,364	1,400	1,400		+36	102.6%	1,072	328
	営業利益	42	40	35	▲5	▲7	83.1%	36	▲1
物流関連	売上収益	479	520	520		+41	108.5%	380	140
	営業利益	22	22	22		▲0	99.2%	19	3
海水関連	売上収益	402	410	410		+8	101.9%	288	122
	営業利益	24	26	26		+2	110.2%	21	5
その他	売上収益	937	1,300	1,300		+363	138.7%	907	393
	営業利益	34	61	64	+3	+30	188.5%	50	14
(調整額)	営業利益	▲9	▲10	▲10		▲1	-	20	▲30
合 計	売上収益	7,423	8,300	8,300		+877	111.8%	5,921	2,379
	営業利益	428	480	480		+52	112.2%	388	92

※2019年11月7日付で公表した見直予想

補 足 資 料

IFRS適用の影響（2018年度第3四半期・セグメント別）

(単位：億円)

		日本基準	IFRS	増減	増減内訳				その他 ※
					IFRS関連				
					のれん	特別損益	非継続事業	その他	
産業ガス関連	売上	1,257	1,252	▲5				▲5	
	利益	119	117	▲1	+4	▲8		+3	
ケミカル関連	売上	569	170	▲399			▲180	▲219	
	利益	24	6	▲18	+0	▲3	▲15	▲1	
医療関連	売上	1,247	1,229	▲18				▲18	
	利益	51	55	+4	+6	▲1		▲1	
エネルギー関連	売上	359	359	▲0				▲0	
	利益	20	19	▲1	+0	▲1		▲0	
農業・食品関連	売上	1,058	1,057	▲1				▲1	
	利益	47	44	▲3	+5	▲3		+2	▲7
物流関連	売上	361	361	▲0				▲0	
	利益	21	18	▲3	+0	+0		+0	▲4
海水関連	売上	284	284	▲0				▲0	
	利益	26	15	▲11	+0	▲0		▲4	▲6
その他	売上	680	667	▲12			▲13	+1	
	利益	38	26	▲11	+2	▲1	+2	▲4	▲11
(調整額)	利益	▲21	13	+34		▲5		+10	+28
合計	売上	5,814	5,378	▲436			▲193	▲243	
	利益	326	315	▲11	+18	▲22	▲12	+6	

※その他：社内管理会計制度の見直しに伴い、これまで調整額に区分していた費用の一部を各セグメントに配分した影響

（単位：億円）

	2018.3Q	2019.3Q ※	増減	
	金額	金額	金額	前年同期比
酸素	220	219	▲1	99.4%
窒素	223	223	+1	100.4%
アルゴン	106	97	▲9	91.2%
炭酸ガス	162	169	+7	104.3%
水素	39	36	▲3	92.7%
ヘリウム	17	21	+4	123.9%
その他ガス	152	134	▲18	87.9%
産業ガス 計	918	898	▲20	97.8%
LPガス	185	177	▲8	95.9%
灯油	62	60	▲2	97.5%

※2019.3Qは海外での産業ガスの売上収益（53億円）がありますが、上表には含めていません。

主要グループ会社 売上収益

(単位：億円)

社名		2018.3Q	2019.3Q	前年同期比
北海道エア・ウォーター（連結）	地域事業会社	426	422	99.1%
エア・ウォーター炭酸	産業ガス	117	122	104.5%
エア・ウォーター防災（連結）	医療（病院設備工事ほか）	168	178	105.6%
エア・ウォーター・メディエイチ	医療（SPD・滅菌）	303	332	109.7%
春雪さぶーる（連結）※	農業・食品（冷食、ハム・デリカ）	232	248	106.8%
ゴールドパック	農業・食品（飲料）	394	377	95.7%
九州屋	農業・食品（青果販売）	206	199	96.6%

※春雪さぶーる(株)は2019年10月1日付をもって大山ハム(株)を吸収合併しました。

地球の恵みを、社会の望みに。



エアウォーター